

令和8年度全国都市緑化祭



(令和7年度全国都市緑化祭 記念植樹(報告書抜粋))

都市緑化の推進を図り、緑豊かな潤いのあるまちづくりを目的に、第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波の中心行事として、令和8年10月7日(水)に「令和8年度全国都市緑化祭」を開催します。

本行事には、佳子内親王殿下の御臨席を賜ります。

■緑化祭の概要

事業名	令和8年度全国都市緑化祭	
主催	国土交通省、京都府、亀岡市、南丹市、京丹波町、公益財団法人都市緑化機構	
会場	亀岡運動公園	
オープニング	オープニングアトラクション(丹波八坂太鼓)	丹波八坂太鼓保存会
記念式典	国歌斉唱	参加者全員
	開会宣言	亀岡市長
	主催者挨拶	国土交通副大臣 京都府知事
	おことば	佳子内親王殿下
	庭園出展コンテスト表彰	国土交通副大臣
	みどりの社会貢献賞表彰	(公財)都市緑化機構会長
	亀岡市、南丹市、京丹波町代表校児童による都市緑花宣言	2市1町の代表校の代表者
	閉会宣言	(公財)都市緑化機構会長
記念植樹	記念植樹者、記念植樹木紹介 植樹	

※上記の他、佳子内親王殿下は、「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」の会場の御視察なども行います。

【本件に関するホームページ】 <https://kyototamba-fair.jp/>

【お問い合わせ先】 京都府建設交通部 都市計画課 担当：八木（ヤギ） TEL 075-414-5277

京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進室 全国都市緑化フェア推進課 担当：玉井（タマイ）

TEL 0771-21-8301 E-mail：ryokka-fair@city.kameoka.lg.jp

亀岡運動公園 ステージイベント
～丹波の四季と美食～



10月10日に、第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波の拠点の一つ亀岡運動公園の野外ステージで「亀岡牛×京野菜食べ比べグランプリ」、「亀岡ほんまもんチェック」を実施します。

■開催の概要

事業名	丹波の四季と美食～秋の食農グルメフェスティバル～
日時	令和8年10月10日 11時00分～15時00分
会場	亀岡運動公園 野外ステージ
料金	一部有料(食べ比べセット 800円)
その他	「亀岡牛×京野菜食べ比べグランプリ」 亀岡牛をメインに、それぞれ京野菜を組み合わせた5種類のメニューを食べ比べて、一番おいしかったメニューにシールを貼って投票。No.1メニューを決定します。 メニューは、「京料理 松正」の料理長に考案いただき、No.1メニューはレガシーとして今後お店で提供していただきます。 「亀岡ほんまもんチェック」 会場から出場者(6人程度)を募り、本物の目を持った「亀岡マスター」を決定します。 出題は、「生け花」「竹細工」「牛肉」。 「生け花」は桂川市長の作品、「竹細工」は亀岡の工芸品、「牛肉」は亀岡牛を見極めます。

【本件に関するホームページ】 https://kyototamba-fair.jp/event/?area=kameoka_area02

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア整備課 担当：廣瀬（ヒロセ）

TEL 0771-55-6789 E-mail: ryokka-seibi@city.kameoka.lg.jp

第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波

国際交流 DAY を実施



(竹ガムラン「スカルサクラ」)



(京都民際民族ダンスステージ)

10月10日(土)・11日(日)の2日間にわたり、国際交流 DAY を実施します。

世界のマルシェと心躍るステージ、素敵なワークショップ体験を通して、身近な国際交流を体験してみませんか？ 子どもから大人まで楽しめる、特別な週末をお届けします。

※掲載内容は現地点での予定です。出演者、出店内容、プログラム等は、今後変更となる場合があります。

■国際交流 DAY の概要

事業名	国際交流 DAY
日時	令和8年10月10日(土)・11日(日) 10時00分～16時00分
会場	京都・亀岡保津川公園「イベントひろば」

<イベントひろば>

台湾・日本文化交流茶会(青空茶席)、台湾昼市(台湾茶葉)、キンパ作りワークショップ(10日のみ)、JICA 関西、亀岡国際交流協会、各種ワークショップ・販売 など

<稲穂ステージ>

【10日】京都民際ステージ(民族舞踊・民族衣装／ミャンマー・ネパール・スリランカ・タイ)、台湾二胡
 【11日】プチェチュム(韓国舞踊)、スプーンダンス(トルコ)、メキシコ舞踊、ウクライナ舞踊、台湾二胡、竹ガムラン(インドネシア)

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 市長公室 秘書課 国際係 担当：伴田（バンダ）

TEL 0771-25-5083 E-mail: kokusai@city.kameoka.lg.jp

国際交流 DAY



10月10日から12日の3日間、「国際交流 DAY」として世界各国の文化や食を五感で楽しめる多彩なプログラムを展開します。緑豊かな会場で、音楽・体験・食を通じ国境を超えてつながる3日間です。

■国際交流 DAY の概要

事業名	国際交流 DAY
日時	令和8年10月10日 10時00分～16時00分 令和8年10月11日 10時00分～16時00分 令和8年10月12日 10時00分～16時00分
会場	京都・亀岡保津川公園
料金	入場無料(一部体験プログラム等は有料)

【10月10日(土)・11日(日)】

世界の文化や伝統に触れるイベントを実施します。

ステージでは、日本唯一の巨大竹ガムラン「ジェゴグ」演奏や台湾二胡、民族舞踊などのパフォーマンスを上演。会場では世界のグルメマルシェや日台文化交流茶席に加え、竹を使ったワークショップや、フラ・ベリーダンスで体を整える「里山ウェルネス」など、子どもから大人まで楽しめる体験型プログラムを用意し、身近な国際交流を創出します。

【10月12日(月・祝):ツチフェス in 亀岡】

「食農」と「プラントベース(植物由来)」をテーマにした食の祭典を開催します。海外からの招聘シェフと京都丹波の料理人が協働し、地域の旬の食材を使ったプラントベース料理を創出・提供します。

来場者は試食や交流を通じて、世界の知恵や技術、持続可能な食文化を体感できます。

【本件に関するホームページ】 <https://kyototamba-fair.jp/event/206/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進室全国都市緑化フェア整備課

担当: 橋本 (ハシモト)

亀岡運動公園 野外ステージイベント ～ひこにゃん、くまモンがやってくる～

第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波の拠点の一つ亀岡運動公園の野外ステージイベントに「ひこにゃん」と「くまモン」が来場します。



(会場となる亀岡運動公園野外ステージ)

■開催の概要

亀岡運動公園野外ステージで開催するイベントに「ひこにゃん」と「くまモン」がそれぞれの PR を兼ねて全国都市緑化フェア in 京都丹波の会場に遊びに来てくれます。

「ひこにゃん」は10月11日(日)の音楽ライブ DAY、「くまモン」は10月25日(日)の Music Festival の中で登場します。

事業名	①音楽ライブ DAY ②Music Festival
日時	①令和 8 年 10 月 11 日 11 時 00 分～15 時 15 分 ひこにゃん出演時間 13 時 00 分～13 時 10 分(予定) ②令和 8 年 10 月 25 日 10 時 00 分～16 時 00 分 くまモン出演時間 13 時 30 分～14 時 00 分(予定)
会場	亀岡運動公園 野外ステージ
料金	無料
その他	①亀岡拠点にぎわい実行委員会主催 關本泰輝+エイコン・ヒビノ、鈴木”村長”洋一郎+TOKU+小沼ようすけ ほか市民参加 2 組 による音楽の一日 ②亀岡市パークコモンズ主催 ダンスや歌など市民団体 8 組によるステージ、じゃんけん大会

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア整備課 担当：廣瀬（ヒロセ）

TEL 0771-55-6789 E-mail : ryokka-seibi@city.kameoka.lg.jp

記者会見資料

場所：亀岡駅北側、亀岡運動公園付近

商工観光課

電話 0771-25-5033

全国都市緑化フェアin京都丹波開催記念
「5分間のフェアメモリアル花火」

亀岡平和祭保津川市民花火大会実行委員会(委員長：内藤一徳)は、全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催を記念した「5分間のフェアメモリアル花火」をフェア期間中に3回実施します。

※内、第1回は9月26日(土)に実施済み



■開催概要

【第2回打ち上げ】

日 時 10月17日(土) 午後7時～午後7時05分

場 所 亀岡駅北側

※同日の日中には、同実行委員会主催で「かめおか TOMOSHIBI フェスティバル」を開催します。亀岡駅北のかめ北サンガ広場、リバーサイドパーク、スタジアム北広場を会場に、子どもから大人まで楽しめるイベントで、メモリアル花火までの盛り上がりを創出します。

【第3回打ち上げ】

日 時 11月7日(土) 午後6時30分～午後6時35分

場 所 亀岡運動公園付近

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/kankou/91542.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 産業観光部 商工観光課 係長：橋本 大佑（ハシモト ダイスケ）

TEL 0771-25-5033 E-mail : mono-sangyou@city.kameoka.lg.jp

第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波×かめおか霧の芸術祭「アート DAY」の開催



(「アート DAY」メインビジュアル)

かめおか霧の芸術祭実行委員会(委員長:佐々木京子)は、「第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波」において京都・亀岡保津川公園で「アート DAY」を開催します。緑化フェアのメインテーマのひとつである「芸術」を軸に、京都・亀岡保津川公園を舞台に2日間にわたって開催するアートイベントです。

■特徴: 田んぼに囲まれたステージで圧巻のバレエパフォーマンス



(Koujiro Yoshikawa/東京バレエ団)

アート DAY の1日目は、稲穂ステージで東京バレエ団によるパフォーマンス「亀岡の四季」が公演されるとともに、公演後は出演ダンサーによるトークイベントが開催されます。
今回の特別ステージには、京都・亀岡観光 PR 大使を務める南江祐生さんも出演されます。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92528.html>
<https://earth-conscious.com/art-day/>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係 担当: 田村省吾(タムラショウゴ)

TEL 0771-55-9655 E-mail: bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

■第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波×かめおか霧の芸術祭「アート DAY」の概要

「アート DAY」は、緑化フェアのメインテーマのひとつである「芸術」を軸に、京都・亀岡保津川公園を舞台に開催する2日間のアートイベントです。約14haの広大な会場には、緑化フェアをきっかけに生まれた約30のアート作品が点在します。会場を巡るだけでなく、つくり手が集まるアートマルシェ、自然素材やアップサイクルをテーマにしたワークショップ、屋外空間で行うパレエパフォーマンスなど、子どもから大人まで一日を通して楽しめるプログラムを用意しています。田んぼや山並み、風や空とともに、いつもの公園を歩くように、自由に、気軽にアートと出会ってみませんか。

事業名	第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波×かめおか霧の芸術祭「アート DAY」
日時	令和8年10月17日(土)～10月18日(日) 午前10時00分～午後4時00分
会場	京都・亀岡保津川公園
料金	入場料無料 ※一部ワークショップは有料

■実施の背景：かめおか霧の芸術祭 マルシェ企画「ボンボンマルシェ」



(ボンボンマルシェ～城跡芸術展2025～)

かめおか霧の芸術祭では、亀岡市内のヒト・モノ・食の循環をコンセプトにアートマルシェ企画として「ボンボンマルシェ」を年2～3回程度開催しています。

モノの売り買いを第一の目的とせず、物々交換市で次の担い手に繋げたり、端材や廃材のアップサイクルをしたり、地域の旬の食材を地域で味わうといった循環を生み出して、地域に新たな価値を創出しています。このような取り組みで生まれる地域の中での「場づくり」もかめおか霧の芸術祭ではアートの一つであると考えています。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92528.html>
<https://earth-conscious.com/art-day/>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係 担当：田村省吾(タムラショウゴ)

TEL 0771-55-9655 E-mail : bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

9 城跡芸術展2026

毎年10月に開催する「かめおか霧の芸術祭」の秋の展覧会。かつて明智光秀が築城した丹波亀山城跡を会場に、亀岡ゆかりの27組の芸術家による屋外・屋内展示を行います。屋外の松林や植物園、屋内のみろく会館、春陽閣といった趣のある会場に、絵画や彫刻、工芸といった幅広い作品を披露する、年に一度の村祭りのような芸術展です。

＜出展作家＞

ACOON HIBINO、Luan Banzai、MUKU ART BASE（森田舞十山本学司）、ZENG HUIRU、越後光詞、大矢一成、奥村博美、小松千倫、阪本結、土淵麻衣、出口鯉太郎、でぐちみつぎ、時田早苗、中島麦、難波洋子、西久松吉雄、西久松綾、藤川耕生、ペリーマキコ、松岡勇樹、村上有輝、モフモフコレクティブ 2026（ヤノベケンジ、山口京将、佐久間花音）、森太三、八木良太、山本和夫、吉田伊佐、綿引恒平／篠蓐・焼き物プロジェクト

2026/10/10(土)～10/25(日)10:00～16:30

- 「丹波亀山城跡」（大本本部・みろく会館／春陽閣／花明山植物園）京都府亀岡市荒塚町内丸1番地（JR亀岡駅南口より徒歩約10分）
- 無料
- 無料／大本本部駐車場をご利用ください

城跡芸術展2026の開催にあわせ、参加作家によるトークイベント、ワークショップ、オープンアトリエなど様々なイベントが行われます。



城跡芸術展2026 ミュージアムショップ 期間限定OPEN!

10/10(土)～10/25(日) 10:00～16:30
● 城跡芸術展会場内 企画 | 副産物産店

城跡芸術展2026の開催にあわせ、会場内にミュージアムショップがオープン。作品を販売する場であると同時に、来場者が芸術祭の体験や記憶を持ち帰ることのできる「もう一つの展示空間」です。ヤノベケンジ氏などこれまでの城跡芸術展の出展作家の関連商品に加え、全国都市緑化フェアin京都丹波に出席するアーティストの商品なども取り扱っています。



第43回 全国都市緑化フェア in 京都丹波「京都丹波みどりの里まつり」

実施期間: 2026年9月18日(金)～11月8日(日)

フェア拠点(メイン会場): 亀岡市:京都・亀岡保津川公園 / 亀岡運動公園、南丹市:園部公園、京丹波町:京都府立丹波自然運動公園 / わち山野草の森

提唱: 国土交通省 / 主催: 京都府、亀岡市、南丹市、京丹波町、公益財団法人都市緑化機構

発行: 亀岡市 企画・制作: かめおか霧の芸術祭実行委員会 アートディレクション・デザイン: 三宅航太郎(MAA)、谷口菜優



緑化フェア



かめおか霧の芸術祭



アートDAY

亀岡アート散策ガイド Kameoka Art Guide book & MAP

田園と街、霧と青空、暮らしと創造がゆるやかにつながる亀岡。14haの広大な会場に設置された作品群「Art Sprout」や農風景に馴染む「農小屋アート」、まちなかに点在する作品群など、アートを通して新しいまちの魅力に出逢う散策ガイドです。

特徴 1 第43回 全国都市緑化フェア in 京都丹波「京都丹波みどりの里まつり」

食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」

第43回を迎える全国都市緑化フェアの舞台は、亀岡市、南丹市、京丹波町にまたがる広大なフィールドです。歴史ある城下町から、息を呑むような大自然まで。庄巻の花々が彩る庭園、地元で採れた旬の味覚、土に触れる驚きの農体験、暮らしに根付く芸術…。五感を解放し、心満たされる52日間がここから始まります。



特徴 3 約14haの広大な会場で繰り広げられる 大小さまざまなアート作品とプログラム

「アートパークプログラム」



「ART PARK PROGRAM」は、野外アート展示「Art Sprout(アート・スプラウト)」、農小屋プロジェクト「Bricoyage(ブリコヤージュ)」、市民育成プログラム「ハッピー」の3つのプロジェクトで構成されています。それぞれが独立した取り組みでありながら、公園というひとつのフィールドの中で互いに呼応し、この場所ならではの体験をつくり出します。

特徴 2 里の暮らしの豊かさを発信する 新たな緑化フェアへ

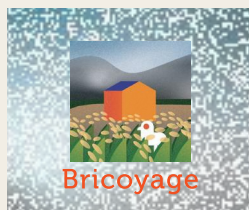
メイン会場の1つ「京都・亀岡 保津川公園」のテーマは「里藝」

人々の日々の暮らしの中から生まれる健やかな美を、柳宗悦は「民藝」と呼びました。私たちはこの亀岡の風景や風土、人と自然がともに育んできた営みの中にもまた、美が宿っていると考え、「里藝」と名づけました。それは、誰か特別な一人がつくる作品ではなく、多くの命と時間が織りなしてきた、この土地の創造です。京都丹波の入り口、のびやかな盆地に吹く風に耳を澄まし、土に触れ、生きものの気配を感じ、自分もまた自然の一部であることに気づく時間となれば幸いです。どうぞゆっくりと、亀岡が育んできた「里藝」の世界をお楽しみください。

・10月17日(土)・18日(日) 京都・亀岡保津川公園にて「アートDAY」を開催



自然溢れる会場での野外展示。公募によって選出された7組のアーティストによる作品を展示します。一般部門3作品、学生部門4作品の計7作品が、公園の風景と環境と呼応しながら展開。



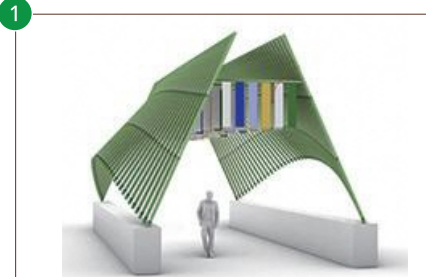
農小屋設置プロジェクト「Bricoyage」では、全国コンペ受賞作家(U35)による4棟、招聘作家による5棟、本プロジェクトの企画・制作を行う農小屋学会による1棟の、計10棟の農小屋を設置。



会場を舞台に活動する市民グループを結成。多彩な講師陣と共に、土地の歴史を紐解き、農地を耕し、地図をつくり、講座で得た学びを活かして、来場者を迎える案内人としても活動します。

詳細は次のページへ

1 大野 宏氏 (建築家 / Studio on_site) による 竹・稲藁の作品群



竹の玄関
京都・亀岡保津川公園の入口に建つ竹のゲートは亀岡の竹林整備で伐り出した竹を活用しています。竹の接合には「OKINA」と呼ばれる竹専用のジョイントを用い、10m以上の距離を竹の構造によって架け渡しています。ゲートをくぐる際、左右に設けられた開口部へ視線を向けると曾我谷川が流れる風景も楽しめます。



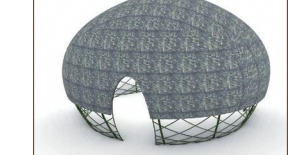
竹の大屋根
大野宏 + 下田悠太
会場のランドマークとなる竹の大屋根。中央に立つ高さ7mの塔から竹を吊ることで、長軸21m、短軸17.5mにおよぶ大きな屋根で空間をつくり出しています。来場者が休憩したり、待ち合わせをしたり、周囲の風景を眺めながら滞在できるように、緑化フェアの憩いの場所となることを意図しました。



藁葺き小屋「農のかたち」
米を育て、稲を干し、藁を編みます。藁はかつて、衣・食・住のそばにあり、農の営みは暮らしそのものでした。隔週でワークショップを行い、市民とともに少しずつ人の手で藁を編み制作しました。中央に置かれた水盤には、空が映ります。田んぼの景色が空間として立ち上がります。



かんきょうドーム
2mmと3mmほどに薄く割った竹を一定の方向にそろえるのではなく、あらゆる方向から重ねるように編み込む「やたら編み工法」によって、軽やかな曲面を持つドームの形をつくり出しています。ドーム内ではアマタホールディングスによる環境を学ぶ展示が行われています。



いきものドーム
細い竹をしなやかに曲げ、その外側に割竹を組み付けることでドーム状に組み上げ、外側には笹を葺くように重ねることで、内側にひとつの空間を生み出しています。ドーム内では亀岡市の環境の取り組みを解説する展示や、天然記念物アユモドキや生物多様性を学ぶ展示が行われています。

2 白砂伸夫氏がプロデュース 田畑の畔を彩る 農家の花と道庭

昔懐かしい田畑の風景を思わせる「農の花畑」「あそびの花畑」が設けられ、園路に沿った道庭には懐かしいコスモスや百日草、ダリアが咲き乱れます。



3 地域の学生による作品も展示 地域学生による作品展示



竹の縁側
京都伝統工芸大学校/京都美術工芸大学
両校の学生と長岡銘竹株式会社が協働して、京都丹波の自然に育まれた竹を用い、縁側のような休憩所に仕立てました。学生の自由な発想と職人の手仕事が響き合う作品です。



京都丹波のかかしたち
亀岡市立中学校・義務教育学校(後期課程)
亀岡市内の中学校・義務教育学校(後期課程)の生徒たちが、着なくなった服などを再利用してカサアートを制作。昔懐かしい田んぼの風景を表現しました。

みどころ

4

アートパークプログラム

前ページ【特徴3】でご紹介した、野外アート展示「Art Sprout」、農小屋プロジェクト「Bricoyage」、市民育成プログラム「ハラッパー」の3つのプロジェクトの詳細をご紹介します。広大な里の風景にたたずむ数々の作品をお楽しみください。

詳細はこちら

4-1 野外アート展示

アート・スプラウト

Art Sprout

野外アート展示「Art Sprout」のテーマは「unearth(アンアース)」。地面の下に埋もれていたものを掘り起こし、これまで見えなかった価値や関係性を発見し、あらためて可視化する行為です。私たちの暮らしを支える環境や記憶、あるいは日常の中で見過ごされてきた価値や問いをすくい上げ、未来へと芽吹く表現(Sprout)として立ち上がる作品を展示します。

- 9



4つの空気 上田 要 一般部門

鏡面のステンレスでできた立方体は、亀岡市内の異なる場所から採取した空気によって大きく膨らんでいます。この土地に流れる時間や記憶、私たちを取り巻く見えないうつかりを想像させます。
- 10



Web of Life 西久松友花 一般部門

菌糸や蟻塚、冬虫夏草など、生きものたちが生みだした形をモチーフに制作。植物の根を地下でつなぐ菌糸のように、目に見えない生命のネットワークは、私たちの足元にも張り巡らされています。
- 11



霞池 yamfum studio×ReLink 一般部門

古民家から回収した型板ガラスが格子状に組まれ、大地に新たな風景を描き出します。会期中に植物が伸び、ガラスと自然が混ざり合いながらその表情は少しずつ変化していきます。
- 12



Accumulation 浅田 遼 学生部門

架空の生きものを思わせる巨大な骨格。周囲の山並みとともに眺めることで、作品と風景との新たな重なりが立ち現れます。
- 13



Selection 大川なずな 学生部門

農耕用の牛から食用の牛へと変化した亀岡牛の歴史を手がかりに、人と牛との関係がどのように変化してきたのかを問いかけます。
- 14



Be-re-earth 呼吸 学生部門

地面から立ち上がる大きな顔のような彫刻は、鼻や口から風や霧を取り込み、大地そのものが呼吸をしているかのように佇んでいます。
- 15



THE WALL WE SHARE 飛聲 学生部門

「描く」ことをコミュニケーションの手段とし、地域の人々との対話やリサーチを重ねながら、壁をつくりあげました。

4-2 農小屋設置プロジェクト

ブリコヤージュ

Bricoyage

"小屋"とは「仮に建てた小さな建物」のことです。そこにある材料で工夫をして作る。壊れたら直し、足りなくなったら足す。亀岡のヒト、モノ、コトを結ぶ集約点として小屋を建て、そこに訪れた人たちが知恵を分かち合う。そしてそれぞれが次のアクションを生み出していく事が未来の亀岡へ向かう旅路の始まりとなるでしょう。

- 16



インフォメーション小屋 農小屋学会

廃木材の柱やトタン、刈られた草などそこにある素材で作った案内所。日々のイベント案内や、来場者は行きも帰りも立ち寄り痕跡を残します。
- 17



竹のドーム『発芽』 U35受賞作家 間(あわい)

人と自然、人と人をつなぐ竹のドーム。ここで過ごす時間が竹のある風景や自然との関わりを思い出すきっかけとなる、そんな願いが込められています。
- 18



用美の畝 U35受賞作家 風×土 設計共同体

機械を使わず、沢山の人の手で掘られた井戸の小屋。地下水や地層など、普段はみえないものがダイナミックにみえ、根源的な発見をもたらします。
- 19



水路の洗濯小屋 U35受賞作家 河野美紀＋榎原真歩

「どぶさらい」という地域の作業に着目し、その行為と素材をみながら考えて作る試みです。人と泥の循環が新たな風景の一部になります。
- 20



様子見の小屋 U35受賞作家 ビメシヤラ

農園を利用する方、地域の素材、伝統的な技法。そこにあるもの・人との出会いから小屋を建てました。使われていくことで、更新は続きます。

- 21



公小屋 招聘作家 studio-L+関西学院大学山崎亮研究室

図書館から廃棄される本棚を再利用した小屋。中から窓を覗くと、人が暮らす家々と稲穂、電車が見える。公園とは何か、「公」を問い直す小屋です。
- 22



亀岡の小屋 招聘作家 dot architects

ひと休みするためのこの小屋は、この地、この時に生まれる様々な関係性を耕し、大きな視野を獲得するためのきっかけとなります。
- 23



化かし化かされる緑の庭 招聘作家 民具BANK

民具の視点から緑を見つめ、「化かされる」体験と「化かす」行為とを行き来する、季節の移ろいを感じる庭のような場がつくられています。
- 24



多すぎず、少なすぎないように 招聘作家 村上 慧

横倒しになった小さな家のようなプランター。真ん中の枇杷の木はこの公園の未来を見つめています。果実の収穫など人々が集まる小屋。
- 25



HOUSE OF HEART 招聘作家 ローランド・ハーゲンバーク

田園風景に設置された「家」の形をした開放的な木造フレームは、風や光、天候、植物などの自然環境と呼応する瞑想的な空間を生み出します。

4-3 市民育成プログラム

ハラッパー

全10回の講座を通して、公園の自然、土地、生きもの、アートなどを学んできたハラッパーたち。会期中は、毎週土・日曜日の13:00～14:00、14:00～15:00に公園を歩きながら、これまでの学びや発見を来場者のみなさんにお伝えします。(参加無料) ハラッパーと一緒に、公園の中の小さな発見を楽しんでみませんか？



みどころ

5

台湾の伝統的な竹工芸を表現する竹のアート作品群

海を超えて2つの台湾の工芸チームが来日！

台湾明新科技大学原住民族教育発展処

台湾の賽夏族(サイシャット族)をはじめ、鄒族(ツォウ族)、阿美族(アミ族)、泰雅族(タイヤル族)、噶瑪蘭族(クヴァラン族)の工芸師によって制作されました。

- 26



霧野静舟シリーズ 霧映アユモドキ 命と川の母

台湾原住民の工芸師は竹と風で、この地で呼吸してきた魚の記憶を編み上げました。川は命の母、土地は命のゆりかごであり、生命が再びここに回遊し、市民とともに育まれるビオトープとなります。
- 27



霧野静舟シリーズ 竹鈴の道

台湾原住民の賽夏(サイシャット)族の祭礼に使用されている「臀鈴(トゥン・リン)」をモチーフに制作。鈴を鳴らすと、賽夏族の音がこの地にやってくる、保津峡の森まで響くでしょう。
- 28



霧野静舟シリーズ 嵐座(風を待つ)

人が静かに風の方向を感じながら力を蓄える時間です。「嵐座(あらしざ)」とは、旅立ちの前に風を待つ瞬間です。航行へ向けた準備段階で、風が吹き始める前から、空気は静かに満ち始めています。
- 29



霧野静舟シリーズ 凜影(航行中)

「凜影(うんえい)」とは、風が水面に残す痕跡のことです。航海は決して一本道ではなく、変化と響き合いながら進む過程、命が前へと歩いていく時間でもあります。風が吹き始めると、舟は動き出します。
- 30



霧野静舟シリーズ 承舟(舟の着地)

「承舟(しょうしゅう)」とは、その舟が大地にそっと受け止められる瞬間を表しています。しかしこれは終わりではありません。長い旅の末に、人は初めて「自分の帰る場所」に気づきます。

台湾竹藝協會

竹工芸・竹造形を中心に台湾の竹文化を今に伝える台湾竹藝協會は亀岡の霧を表現した作品を展示します。

- 31



行霧之所(霧のゆくところ)

亀岡の自然風土を象徴する「丹波霧」という、境界のない流動的な存在を、亀岡地域の真竹と台湾の竹編み技法によって空間化した作品です。竹ひごを一本ずつ手作業で編み重ねることで生まれた複数の有機的な構造体は、野原に漂う朝露のようにゆるやかに流れています。

みどころ

7

アップサイクルブランド HOZUBAG による 風の記憶・風の景色

「京都・亀岡保津川公園」へのアプローチに、アップサイクルブランド“HOZUBAG”のインスタレーションを展示。役目を終えたパラグライダー生地を、古くから人々の祈りや祝い、道しるべとして風になびいてきた「のぼり」へと再構成し、亀岡ならではの新しいランドスケープを描き出しています。

みどころ

8

周辺アートスポット

亀岡市内に点在するアートスポットや期間限定の特別イベントをご紹介します。緑化フェアの拠点とともに、ぜひ巡ってみたいくださいね。

- 37

開かれたアトリエ



亀岡市役所地下1階に設けられたオープンスペース。9/26(土)～11/26(木)の期間には、市民の手によって制作された「新しい野良着」を提案する、開かれたアトリエ展覧会「KAMEWALK展」を開催しています。

📍 亀岡市安町野々神8(亀岡市役所地下1階) 🕒 9:00～17:00

🆓 無料 🅕 あり
- 38

みずのき美術館



みずのき絵画教室の作品を収蔵する美術館で、元理髪店の町家を改修し2012年に開館。建築設計は乾久美子。緑化フェアにあわせて市民や小学校が参加している「ヤオロズノホコランタン・プロジェクト」の展示を行います。

📍 亀岡市北町18 🕒 10/10(土)～11/8(日)の金土日祝10:00～18:00 ※11/3(祝)は休館 🆓 会期中は無料 🅕 なし
- 39

MICHI GARDEN



日本を代表する石の彫刻家・山口牧生氏と、独自の世界観で石の彫刻を表現する娘・山口さこ氏の大小さまざまな作品を展示。妻で詩人の山口三智氏が造った美しい庭に展示されています。

📍 亀岡市西別院町万願寺大堂21-67 🕒 常時

🆓 無料 🅕 なし
- 40

カメオカアートボンチ 2026 おみせでさくひんてん vol.8

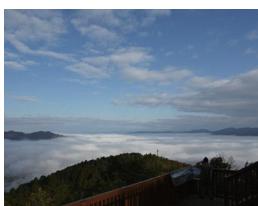


亀岡のアーティストとお店が連携して手作りの作品展を開催。今年は市内の11店舗が会場となり、13組の作家の作品が展示されます。11月8日(日)には川の駅・亀岡水辺公園でマルシェイベントを開催。

📍 9/18(金)～11/8(日) 🕒 会場によって異なる

🆓 無料 📧 @kameoka_artbonchi
- 41

かめおか霧のテラス



標高412.4mを誇る竜ヶ尾山の山頂付近に整備された「かめおか霧のテラス」からは亀岡市の町並みが一望できます。秋から冬の早朝の時間帯には「雲海」が発生し、運が良ければ幻想的な景色を眺められます。

📍 亀岡市下矢田町医王谷 🕒 随時

🆓 無料 🅕 約10台

みどころ

6

地域に根ざした芸術家による作品展示 亀岡在住& 亀岡ゆかりの芸術家

霧が立ち、川が流れ、田畑が広がる。この土地に惹かれた作家たちの彫刻が、駅前からかめきたリバーサイドパーク、保津川公園へと来訪者を導きます。風景と一緒に楽しみください。

- 32



SHIP'S CAT MISTY ヤノベケンジ

丹波霧と駅前という人と風景が交差する場所性を基盤に構想された彫刻です。鏡面ステンレスで制作された猫の像は、周囲の風景や人々の姿を映し込み、時間や天候によってその表情を変化させます。
- 33



風になるとき 緑の風 西野康造

亀岡市にアトリエを構え、国内外で活躍する彫刻家・西野康造氏による5つの彫刻アート作品を設置。風を受けて翼が羽ばたく雄大な彫刻が、かめきたリバーサイドパークに並び、来場する皆さまをお迎えします。
- 34



再会 崔 石鎬(チェンクホ)

亀岡市を拠点に活動する韓国出身の美術家・彫刻家、崔 石鎬氏による間伐材を使った雄大な彫刻作品です。亀岡市の平和と繁栄への願いを込めて「京都・亀岡保津川公園」歓迎のほらばに設置されます。
- 35



パッサージュ 山口牧生

能勢の石が形成された約八千万年という遅かな時間。「パッサージュ」は、自然の中を通り過ぎるものや、過ぎゆく時間を表しています。リバーサイドパークには「石の中」「遺構のある石」の二作品も常設されています。

- 36



- 42

亀岡市桂川市長誘拐事件(AI謎解きゲーム)



亀岡市の桂川市長が誘拐された。誘拐した犯人の目的とは？亀岡の町を巡りながら、実際に犯人からの電話に対応し、市長を救おう。犯人と攻防し、犯人から出される謎を解きながら完全クリアを目指すそう。

📍 JR亀岡駅周辺(北ロケットにて受付) 🕒 9/18(金)～11/8(日)

🆓 無料 企画：窪田望(株式会社Creator's NEXT)

第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念
かめおかダンスフェスティバル 2026



ダンスフェスティバルを通じて、地域の活性化を図るとともにスポーツを「する」だけでなく「みる」、「支える」という面からスポーツに親しむ機会を創出し、生涯スポーツの推進を図ることを目的とし、ダンスフェスティバル 2026 を実施します。

■ダンスフェスティバルの概要

事業名	第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念かめおかダンスフェスティバル 2026
日時	令和 8 年 10 月 18 日 10 時 30 分～19 時 00 分
会場	亀岡運動公園野外ステージ ※雨天の場合は、亀岡運動公園体育館
料金	無料
その他	キッズからシニアまで総勢 18 チームのダンスチーム、総勢 500 名が日頃の練習の成果を発揮し、華麗なダンスを披露いたします。また緑化フェアの開催を記念して、「緑・花」をテーマに取り入れたダンスパフォーマンスも予定しています。 ゲストには著名なダンスユニット Body Carnival や高橋一生さんを招待し、プロの演技を含めて一日楽しめるイベントです。

【本件に関するホームページ】 <https://www.kyototamba-fair.jp/event/159/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 生涯スポーツ課 生涯スポーツ係 担当：谷（タニ）

TEL 0771-25-5055 E-mail : sports-suisin@city.kameoka.lg.jp

第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念
熱気球係留・体験搭乗



10月18日及び10月25日に、亀岡保津川公園(かけっこはらっぱエリア)で、地上に固定された安全な熱気球で上空15～20メートルまで上昇(5分程度)し、第43回全国都市緑化フェアの景色を空から楽しめます。熱気球という非日常の体験をぜひこの機会に体験してみてください。

■熱気球係留・体験搭乗の概要

事業名	第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念熱気球係留・体験搭乗
日時	令和8年10月18日(予備日:11月7日) 7時00分～9時00分 令和8年10月25日(予備日:11月8日) 7時00分～9時00分
会場	亀岡保津川公園(かけっこはらっぱエリア)
料金	大人:3000円、小学生:1500円、未就学児:500円 ※小学生までは要保護者同乗
その他	現時点ではすべての日程で定員に達しています。 キャンセルができた場合はお申込みが可能となりますので、その際はHPへ掲載します。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/13/88543.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 生涯スポーツ課 生涯スポーツ係 担当: 谷(タニ)

TEL 0771-25-5055 E-mail: sports-suisin@city.kameoka.lg.jp

- 秋の行楽シーズンは愛犬と亀岡へ！ -
亀岡わんわんフェスタ2026開催&情報誌「犬と亀(最終号)」発行



(昨年初開催し、好評だった亀岡わんわんフェスタの第2弾です。)

京都府亀岡市(市長:桂川孝裕)は、「犬と暮らしやすいまち亀岡」事業の取組として10月15日に情報誌「犬と亀」を発行し、続く10月24日に「亀岡わんわんフェスタ2026」を開催します。どちらも第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波の記念事業をして実施し、愛犬と緑化フェアをテーマに亀岡のまちを盛り上げます。

 コンセプトは愛犬と“一緒”に楽しむイベント -亀岡わんわんフェスタ2026-



(昨年の様子。わんちゃん同士の交流も見どころ)

昨年初開催し、2,000人以上の愛犬家が訪れた同イベントを、緑化フェア記念としてさらにコンテンツを拡充させます。ステージイベントやマルシェ、ドッグランのほか、来場者参加型の企画も充実。特に、飼い主と犬が一緒に出場する「ばん食い競争」やエンディングを彩る「わんわんパレード」などユニークな新企画にご注目ください。

また、ペット防災の講演会や盲導犬・警察犬デモンストレーション、保護犬・猫の啓発など学びにつながる出展もあります。

■ 日程 令和8年10月24日(土)午前10時～午後4時

■ 場所 京都・亀岡保津川公園

■ 亀岡わんわん Days 10月22日(木)～24日(土)には、同会場にスタンプラリーとフォトスポットを設置し、愛犬家の皆さんの来場を促します。

※イベント詳細はチラシまたはイベントHP をご覧ください。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/wanwan/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 環境先進都市推進部環境政策課環境政策係 担当：乾（イヌイ）

TEL 0771-25-5023 E-mail : kankyo-soumu@city.kameoka.lg.jp

🐾 惜しまれつつ最終号 -情報誌「犬と亀 vol.3」-



令和5年度の創刊号の発行以来、愛犬家の皆さんに親しまれてきた情報誌「犬と亀」が第3号をもって最終号となります。



みどころは、京都サンガF.C.のMFで愛犬家の福岡慎平選手への撮り下ろしスペシャルインタビューです。本冊子でしか見られない愛犬とのオフショットやエピソード満載でお届けします。

中面では、「マナーパンツ」の普及を目指して実施した初の「おしゃれマナーパンツコンテスト」の結果発表をはじめ、POOPOOPOUCH プロジェクトなど真似したくなるマナーアクションを特集しています。

お出かけスポット情報も掲載していますので、楽しく学べる啓発冊子として末永く愛読いただける1冊を目指しています。

■ 発行概要 令和8年10月15日(木)、5,000部、12ページ

■ 配布方法 市内組回覧ほかドッグフレンドリープレイス(市内約30カ所)等への配架

🐾 実施の背景:犬と暮らしやすいまち亀岡事業



亀岡市と犬には古来から深いつながりがあり、現在でも多くの市民が犬を飼い、愛犬との暮らしを楽しんでいます。そんな亀岡市独自の背景を活かし、環境整備やマナー啓発、PR 事業等を展開することで、犬を飼っている人はもちろん飼っていない人にもやさしいまちづくりを進めるものです。

(本市出身の絵師・円山応挙の作品をイメージした「ドッグフレンドリープレイス」のステッカー)

■ 現在開催中の企画



【わんわんスタンプラリー】

期間:実施中～12月25日(金)

概要:対象33カ所から3カ所巡るとわんわんパスポートがもらえます。

【亀岡わんこフォトコン2026】

期間:実施中～11月8日(日)

概要:愛犬とのお出かけ写真を投稿する Instagram 連動キャンペーンで、今年は緑化フェア特別賞もご用意しています。

■ 今後の予定

12月12日(土) 亀岡わんこフォトコン表彰式

12日(土)、13日(日) 愛犬と楽しむ写真展「犬と亀展」 ※どちらも会場は CircularKameokaLab

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/wanwan/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 環境先進都市推進部環境政策課環境政策係 担当: 乾 (イヌイ)

TEL 0771-25-5023 E-mail: kankyo-soumu@city.kameoka.lg.jp

パンマーケット



10月25日と11月3日の2日間、京都・亀岡保津川公園の「イベントひろば」にて、京都丹波をはじめ、地域の魅力的な食が集う「パンマーケット」を開催します。

■パンマーケットの概要

事業名	パンマーケット
日時	令和8年10月25日 10時00分～16時00分 令和8年11月3日 10時00分～16時00分
会場	京都・亀岡保津川公園
料金	入場無料(パンは有料)

京都丹波(亀岡市・南丹市・京丹波町)をはじめ、京都市、綾部市、宇治市、丹波篠山市などから、話題のパン屋さんやこだわりのコーヒーショップが一堂に集結します。

全国都市緑化フェアの開催にちなみ、亀岡・南丹・京丹波の豊かな自然が育んだ地元食材を取り入れた、本イベントならではのパンやメニューも登場します。

豊かな自然に囲まれた秋の保津川公園で、地域の恵みと職人のこだわりが詰まったパンやコーヒーとともに、心地よいひとときをお届けします。

【本件に関するホームページ】 https://kyototamba-fair.jp/event/?area=kameoka_area01&area=other

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進室全国都市緑化フェア整備課

担当：橋本（ハシモト）

なぜ今、花とみどりののか？
亀岡市長が明かす「京都丹波みどりの里まつり」誕生の舞台裏と未来



(桂川 亀岡市長)

10月27日に、みどりの5団体実行委員会主催の『第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波』開催記念シンポジウム「京都丹波から、花とみどりのフェアの今後を展望しよう」において、亀岡市長が講演を行います。

■概要

(1)主催:みどりの5団体実行委員会

- ・一般社団法人日本造園建設業協会近畿総支部
- ・一般社団法人日本公園施設業協会関西支部
- ・一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部
- ・一般社団法人日本植木協会関西ブロック
- ・一般社団法人日本水景協会関西支部

(2)共催(予定):公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、亀岡市

(3)後援(予定):国土交通省近畿地方整備局、京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、

和歌山県、京都市、大阪市、神戸市、堺市、

一般社団法人日本公園緑地協会、一般財団法人日本造園修景協会、一般社団法人公園管理運営士会、公益社団法人日本造園学会関西支部

特定非営利活動法人国際造園研究センター、阪神造園建設業協同組合、一般社団法人京都造園建設業協会、一般社団法人日本造園組合連合会京都府支部

- (4)対象:みどりに興味をお持ちの一般市民・府民
公園緑地・緑化に携わる国・地方公共団体等職員
園芸・造園等に関わる企業、法人等関係者 等

(5)内容:

第1部 講演会:(各 60 分 計 120 分)

講演Ⅰ:「造園・ランドスケープ界が考えるべき花とみどりのフェアの未来の方向性」(仮称)

進士 五十八

東京農業大学名誉教授・元学長、福井県立大学名誉教授・元学長

講演Ⅱ:「地域活性化からみた花とみどりのフェア～京都丹波みどりの里まつり～開催の動機
と経緯などについて」

桂川 孝裕

亀岡市長、子どもたちと地域の未来を考える花と緑のまちづくり全国首長会事務局長

第2部 パネル・ディスカッション:(110 分)

パネリスト:進士 五十八

桂川 孝裕

船山 純(クラブツーリズム株式会社、花緑コーディネーター)

福井 亘(京都府立大学大学院教授、(一財)日本造園修景協会京都府支部副支部長)

コーディネーター:須磨 佳津江(ジャーナリスト、フリーアナウンサー)

(6)プログラム:

13:00～13:05 (5 分) 開会あいさつ(主催者)

13:05～14:05 (60 分) 講演Ⅰ

14:05～15:05 (60 分) 講演Ⅱ

15:05～15:15 (10 分) 休憩

15:15～16:55 (100 分)パネル・ディスカッション:

16:55～17:00 (5 分) 閉会あいさつ(共催者)

事業名	『第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波』開催記念シンポジウム 「京都丹波から、花とみどりのフェアの今後を展望しよう」
日時	令和 8 年10月27日(火) 13時00分～17時00分
会場	ガレリアかめおか 2階 大広間
料金	無料

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進室 担当:清水 (シミズ)

TEL 0771-21-8301 E-mail: ryokka-fair@city.kameoka.lg.jp

オーガニックビレッジフォーラム 2026 in 亀岡



10月30日(金)、ガレリアかめおかにおいて「オーガニックビレッジフォーラム2026in 亀岡」を開催します。本フォーラムでは、有機農業を地域の中で持続的に広げていくために、自治体が果たす役割や、有機農業者の所得向上、販路、流通などについて考えます。

全国からオーガニックビレッジ宣言自治体や有機農業関係者等が参加する予定で、自治体・農業者・民間事業者が一堂に会し、先進的な取り組みを共有します。

■事業概要

日時:令和8年10月30日(金)12:30~16:30

会場:ガレリアかめおか2階大広間(京都府亀岡市余部町宝久保 1-1)

主催:第1部 亀岡市・亀岡市有機農業推進協議会

第2部 農林水産省・亀岡市・亀岡市有機農業推進協議会

参加費:無料(事前申し込み要)

第1部 (12:30~14:30)

基調講演 「有機農業推進に向けて自治体ができること」

講師:鈴木 宣弘 氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授・名誉教授)

講演 「有機農業者の所得拡大に向けて」

講師:小野 邦彦 氏(株式会社 坂ノ途中 代表取締役)

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/92408.html>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 産業観光部 農林振興課 食と農の未来創造係 担当:山口(ヤマグチ)

TEL 0771-25-5036 E-mail: keizai-soumu@city.kameoka.lg.jp

第2部（14：30～16：30）

自治体による事例発表

- ・静岡県掛川市、兵庫県養父市、愛知県大府市

事業者による事例発表

- ・（株）ハイパーアグリ、（株）福岡ソノリク、（株）ビオかめおか

情報提供

- ・農林水産省

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/30/92408.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 産業観光部 農林振興課 食と農の未来創造係 担当：山口（ヤマグチ）

TEL 0771-25-5036 E-mail : keizai-soumu@city.kameoka.lg.jp

アグリフェスタ 2026



亀岡市の農業及び畜産業を身近に感じていただくとともに、その生産物のおいしさを知っていただき、地産池消のさらなる推進を通じて生産者・消費者の双方に貢献するイベントとして、「アグリフェスタ2026」を開催します。

■事業概要

事業名	アグリフェスタ 2026
日時	令和 8 年10月31日・11月1日 10時～16時
会場	京都・亀岡保津川公園
料金	入場料無料

マルシェ

市内の生産者が育てた新鮮な野菜や、こだわりの畜産物など、亀岡の豊かな農産物・畜産物を販売します。生産者との交流を通じて、亀岡の食の魅力を直接感じていただきます。

ステージプログラム

太鼓演奏やダンス、音楽ステージのほか、野良着をテーマとしたファッションショーを開催し、会場を盛り上げます。

体験・ワークショップ

「木育」や「農業」をテーマに、子どもたちから大人まで楽しみながら地域の産業や自然に触れることができる体験・ワークショップを実施します。

【本件に関するホームページ】 <https://kyototamba-fair.jp/event/175/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 産業観光部 農林振興課 食と農の未来創造係 担当：入江（イリエ）

TEL 0771-25-5036 E-mail : keizai-soumu@city.kameoka.lg.jp

記者会見資料

場所: 京都・亀岡保津川公園

文化芸術課

電話 0771-55-9655

「亀岡ジャズフェスティバル 2026」の開催 ～亀岡のまちが音楽であふれる1日～



(「亀岡ジャズフェスティバル 2026」メインビジュアル)

京都府亀岡市(市長:桂川孝裕)は、令和8年11月3日(火・祝)に、JR 亀岡駅周辺4会場5ステージで「亀岡ジャズフェスティバル2026」を開催します。総勢32組のアーティストが集結し、11店舗の露店がメイン会場を中心に立ち並び、心地良いジャズを聞きながら亀岡産の美味しい食材や魅力を味わうことができる音楽イベントです。

■特徴:世界を駆ける究極のデュオ「Dos Orientales」が出演！



(国際的なデュオ「Dos Orientales」)

今年のメインアーティストは、世界的な知名度のあるデュオ「Dos Orientales」です。グラミー受賞歴もあるウルグアイ音楽界のレジェンドであるウーゴ・ファトルーソ(写真:左)と海外でも高く評価されるパーカッションニストであるヤヒロトモヒロ(写真:右)による国際的なデュオです。ウルグアイのアフロ系伝統リズム「カンドンベ」をはじめ、ラテン、ジャズ、即興演奏を融合させた彼らの音楽はたった2人とは思えない圧巻のサウンドで、今年の亀岡ジャズフェスティバルを熱く盛り上げます！

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92456.html>
<https://jazz.kameokaevent.jp>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係 担当:田村省吾(タムラショウゴ)

TEL 0771-55-9655 E-mail: bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

■「亀岡ジャズフェスティバル 2026」の概要

亀岡ジャズフェスティバル2026は、JR 亀岡駅周辺4会場5ステージで開催されます。

事業名	亀岡ジャズフェスティバル 2026
日時	令和 8 年 11 月 3 日(火・祝) 午前 10 時～午後 5 時
会場	かめきたサンガ広場・・・センターステージ、パークステージ 南郷公園光秀像前・・・光秀ステージ サーキュラーかめおかラボ・・・川辺ステージ 京都・亀岡保津川公園・・・田園ステージ
料金	入場料無料

■実施の背景：音楽を通じた文化力の向上及びまちの賑わいづくりの推進



(亀岡ジャズフェスティバル様子)

「亀岡ジャズフェスティバル」は、市民の皆様によって始まり、令和元年に第 1 回目が開催されてから、今回で 8 回目の開催となります。

2024 年の第 6 回目の開催より、「亀岡ジャズフェスティバル」を持続可能な一大音楽イベントとしてさらに発展させ、市民が優れた音楽を楽しむ機会の創出や地域のアーティストが音楽を発表することを目的に亀岡市においても様々な支援を行っています。

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92456.html>
<https://jazz.kameokaevent.jp>

【お問い合わせ先】京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係 担当：田村省吾(タムラショウゴ)

TEL 0771-55-9655 E-mail : bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp



第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波記念事業



KAMEOKA 2026 JAZZ FESTIVAL

亀岡のまちが音楽であふれる1日



2026

11.3

火・祝

10:00 ▶ 17:00

小雨決行・観覧無料

JR 亀岡駅周辺各会場にて開催

主催：亀岡ジャズフェスティバル実行委員会 共催：亀岡市

後援：亀岡市教育委員会 / 一般社団法人亀岡市観光協会 / α-STATION エフエム京都

お問合せ：jazz@kameokaevent.jp

公式 HP：https://jazz.kameokaevent.jp/



亀岡ジャズフェスティバル2026 GUIDE

01 5つのステージを巡ろう！

CENTER STAGE センターステージ



実力派アーティストが集結。迫力のライブを楽しめるメインステージです。

RURAL STAGE 田園ステージ



亀岡の自然に包まれた開放感あふれるステージ。アコースティックなど、心地よい音楽を楽しめます。

PARK STAGE パークステージ



広々とした空間で、さまざまなジャンルの音楽を気軽に楽しめるステージです。

RIVERSIDE STAGE 川辺ステージ



川の流れを感じながら、音楽に浸る、ゆったりとした雰囲気のステージです。

MITSUhide STAGE 光秀ステージ



歴史と文化が息づく亀岡のまちで、ジャンルを超えた音楽を楽しめるステージです。

02 総勢 32組が出演！



Dos Orientales



Blue Nile



フュージョンボーカル
トリビュートバンド



ウエザーリポート
トリビュートバンド



FRIDGE

03 タイムテーブル

※出演時間等は変更になる場合があります。最新情報は公式ホームページへ。

時間	センター	田園	パーク	川辺	光秀
10 時台	FRIDGE	小濱ファミリー 楠田名保子	五美ひろえ	MIELE 奏 Re:birth	THE CABES\$ WIZARD
11 時台			maRin timu	歌種	GRANITE
12 時台	ウエザーリポート トリビュートバンド	comarco	Yas	平川 Key & Sawa	ダブルマリーズ
13 時台	Blue Nile	高橋建一郎	レッツゴーかめおか合唱	Hiroko's Quartet ROSARMO+	Flat Five
14 時台	フュージョンボーカル トリビュートバンド	北脇久士	関西鍵盤ハーモニカ オーケストラ	Quiet!	川鯨祐子 with 藤井孝紀トリオ
15 時台			ONE HARTZ STEEL ORCHESTRA	SOUL STIRRING CATS	Jazzholic
16 時台	Dos Orientales				

応援Tシャツ
販売中！

Tシャツを着て、
亀ジャズを
一緒に盛り上げよう！



1枚
2,800円
(税込み)

取り扱い店舗

Blackie
亀岡市三宅町9
0771-23-7754

カラオケplanet
亀岡市追分町大堀7-1
0771-29-5860

当日会場でも
販売！

会場 MAP



自然楽器のこどもオーケストラ



11月3日と11月7日の2日間、子どもたちが手作りの竹楽器で演奏に挑戦する体験型イベント「自然楽器のこどもオーケストラ」を開催します。

■自然楽器のこどもオーケストラの概要

事業名	自然楽器のこどもオーケストラ
日時	令和8年11月3日 14時00分～制作ワークショップ(完成次第ステージでリハーサル) 令和8年11月7日 13時00分～演奏会
会場	京都・亀岡保津川公園
料金	無料(定員約 20 名)

地域課題である放置竹林から伐採された竹を活用し、子どもたちが自ら竹笛や竹太鼓などを制作します。プロの音楽家のサポートのもと練習をし、フェア会場でのステージ発表に臨みます。

「捨てられるはずの資源」を「宝物の楽器」へと再生させる体験を通じ、環境保全意識と郷土愛を育みます。亀岡市在住のプロ音楽家(川上優氏、MIZUKAMI 氏)が音楽監修を務めます。

音楽経験を問わず募集を行い、地域資源の循環と子どもたちの体験価値創出を融合した、亀岡ならではの持続可能な文化プログラムです。

【本件に関するホームページ】 <https://earth-conscious.com/kids-orchestr/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進室全国都市緑化フェア整備課

担当：橋本（ハシモト）

記者会見資料

場所: 亀岡運動公園

文化芸術課

電話 0771-55-9655

亀岡吹奏楽フェスティバル 2026

～全8組による音楽イベントを開催～

亀岡吹奏楽フェスティバル実行委員会(委員長:日比野 敏彦)は、令和8年11月7日(土)、吹奏楽に取り組む人たちの発表の場を創出するとともに、市民が身近に音楽に触れることができる機会を設け、音楽を通じたまちの賑わいづくりの一環として、亀岡吹奏楽フェスティバルを開催します。全国都市緑化フェア in 京都丹波と同時開催となり、緑化フェアを音楽で盛り上げます。地元中学生や楽団等が奏でるハーモニーをぜひ会場でお楽しみください。



■開催概要

日 時 11月7日(土) 正午～午後4時

会 場 亀岡運動公園体育館

入場料 無料(飲食ブースを除く)

主 催 亀岡吹奏楽フェスティバル実行委員会、亀岡市

出演者 8組(亀岡中学校吹奏楽部、南桑中学校吹奏楽部、大成中学校吹奏楽部、詳徳中学校吹奏楽部、
亀岡市吹奏楽団、亀岡ジュニアバンド、京都両洋高等学校吹奏楽部、同志社大学軽音楽部)

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92636.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長:池永 菜穂子(イケナガ ナオコ)

TEL 0771-55-9655 E-mail: bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp

■招聘団体

京都両洋高等学校吹奏楽部

今年、第63回京都府吹奏楽コンクール 高等学校の部 A にて金賞を受賞し、「京都府代表」に選出。その後、第76回関西吹奏楽コンクール高等学校の部 A にて金賞を受賞。「関西代表」に選出され、全日本吹奏楽コンクールへの出場が決定！

同志社大学軽音楽部

部活動では、主に Jazz, Funk, Fusion 等の音楽をビッグバンド(20 人弱のバンド)、コンボ(少人数のバンド)の形態で演奏。直近の受賞歴では、令和5年度、山野ビッグバンドジャズコンテスト準優勝！

■昨年度の様子



(亀岡吹奏楽フェスティバル 2025)

【本件に関するホームページ】 <https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/12/92636.html>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 生涯学習部 文化芸術課 文化振興係長：池永 菜穂子（イケナガ ナオコ）

TEL 0771-55-9655 E-mail : bunka-kokusai@city.kameoka.lg.jp



京都丹波
みどりの
里まつり

全国都市緑化フェアin京都丹波記念事業

亀岡 吹奏楽 フェスティバル 2026

Kameoka Wind Band Festival

11/7

Sat. 12:00-16:00
入場無料

亀岡運動公園体育館
(亀岡市曾我部町穴太土淵 33-1)

地元中学生や楽団、2つの招待校が奏でる美しいハーモニー。フィナーレには、
緑化フェアテーマ曲「みどりのふるさと」を合同で演奏し、迫力あるステージを披露します。
心に響く音楽のひとときを、ぜひ会場でお楽しみください。

Program

1. 開演 (12:00~)
2. 亀岡市吹奏楽団
3. 同志社大学軽音楽部
4. 亀岡ジュニアバンド
5. 南桑中学校吹奏楽部
6. 大成中学校吹奏楽部
7. 亀岡中学校吹奏楽部
8. 詳徳中学校吹奏楽部
9. 桂川市長 挨拶
10. 京都両洋高等学校吹奏楽部
11. 合同演奏「みどりのふるさと」
12. クロージング
13. 終演 (~16:00)

Guest Schools

京都両洋高等学校吹奏楽部

今年、第63回京都府吹奏楽コンクール高等学校の部Aにて金賞を受賞し、「京都府代表」に選出。その後、第76回関西吹奏楽コンクール高等学校の部Aにて金賞を受賞。「関西代表」に選出され、全日本吹奏楽コンクールへの出場が決定！

同志社大学軽音楽部

部活動では、主にJazz, Funk, Fusion等の音楽をビッグバンド(20人弱のバンド)、コンボ(少人数のバンド)の形態で演奏。直近の受賞歴では、令和5年度、山野ビッグバンドジャズコンテスト準優勝！

体育館2階に
飲食ブース出店
2階飲食スペースのみ
飲食可能

※ 体育館内は土足厳禁のため、上靴 / 外靴入れの袋をご持参ください。

※ 会場周辺の駐車場には限りがあります。ご来場の際は、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

※ 今後、諸般の事情により内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

主催：亀岡吹奏楽フェスティバル実行委員会

共催：亀岡市

事務局：亀岡市役所文化芸術課

TEL:0771-55-9655(平日9:00~16:30)

田んぼサッカー×コメクエ～OKOME QUEST～



刈り取り後の田んぼをピッチにした田んぼサッカー大会と、子どもたちが農業や仕事、地域の経済の仕組みを学ぶ「コメクエ～OKOME QUEST～(ミニ ver.)」を組み合わせた農業体験型のイベントを開催します。

■事業概要

開催日時 令和8年11月8日(日)

午前の部 10時00分 ～ 12時00分

午後の部 13時00分 ～ 15時00分

開催場所 京都・亀岡保津川公園内

対象者 午前の部:小学校低学年

午後の部:小学校高学年

※未就学児のお子さまも、横でボールを蹴るなどお遊びいただくことは可能です。

定員 各回30名

料金 1,100円

※同時開催「コメクエ～OKOME QUEST～(ミニ ver.)」の参加費込み

※550円で「コメクエ～OKOME QUEST～(ミニ ver.)」のみの参加も可能です。

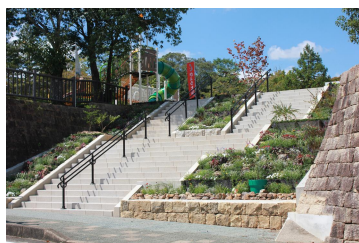
【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 産業観光部 農林振興課 食と農の未来創造係 担当: 山口 (ヤマグチ)

TEL 0771-25-5036 E-mail: keizai-soumu@city.kameoka.lg.jp

第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波 閉会式



京都・亀岡保津川公園 遊びの花畑



園部公園 そのべ出合いの小径



京都府立丹波自然運動公園 あっぱれたんぼ



亀岡運動公園 メインガーデン



わち山野草の森 みどりのトンネル

9月18日に開会した緑化フェアについては、52 日間の会期が終わる 11 月 8 日(日)にガレリアかめおかにて閉会式を行います。

■閉会式の概要

事業名	第43回全国都市緑化フェア in 京都丹波 閉会式
日時	令和8年11月8日 14時 ~ 15時
会場	ガレリアかめおか コンベンションホール
次第等 (予定)	オープニングアトラクション 吹奏楽演奏にのせ、フェア期間の活動をまとめた映像上映 (出演) 亀岡市立亀岡中学校、大成中学校、詳徳中学校、 京都府立園部高等学校附属中学校、南丹市立園部 中学校、八木中学校、殿田中学校 吹奏楽部約180人 主催者挨拶 第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 名誉会長 京都府知事 西脇 隆俊 会長 亀岡市長 桂川 孝裕 来賓挨拶 国土交通大臣(代理) 庭園出展コンテスト表彰 受賞者の披露 フェア旗引継ぎ式・挨拶 佐賀県知事(代理) 閉会宣言 第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波実行委員会 (公財)都市緑化機構 理事長 横張 真

【本件に関するホームページ】 <https://kyototamba-fair.jp/>

【お問い合わせ先】 京都府亀岡市 全国都市緑化フェア推進課 担当：主幹 中川（ナカガワ）

TEL 0771-21-8501 E-mail : ryokka-fair@city.kameoka.lg.jp